

相手意識

校 長 武井 正明

今日で2年生の職場体験学習が終わります。

私は体験学習直前、2年生の皆さんにこんな話をしました。

皆さんは来週から職場体験学習で各事業所にお邪魔することになります。

私たち学校の世界で言えば教育実習です。毎年吉中卒業生が、教員を目指す学生としてとても素晴らしい態度で実習していきます。しかし、こんな学生ばかりではありません。

私が迎えてきた学生の中に、こんな学生がいました。

「…どうしても教職の単位が必要なんで。…先生になる気はありません」

私は教職について誇りを持っています。こんな素晴らしい仕事はないと思って毎日勤務しています。彼の言葉を聞いた私は「だったらウチなんか来ないでよそに行けばいいのに。こっちはあなたみたいなのを相手にするほど暇じゃない。俺はこれで20年以上生活しているんだ。そういうやつは、さっさと別の仕事に行けばいい」カッチーンとききました。

では、その学生はどうすべきだったのか。

理由はどうあれ、その学校にお邪魔して自分のために他人の時間を削らせているのだから、実際教員になる気がなくても、そのような言葉は口にすべきではないのです。それこそ彼の言葉は「自己本位で無神経なひと言」だったのです。

私は事ある毎に先生方に「常に『相手意識』を持ってください」と指導しています。

君たちは、それが授業だろうが何だろうが、積極的だろうが嫌々だろうが、他人様の敷地に足を踏み込んで「ご厄介」を掛ける立場だということだけは肝に銘じて、実習に励んでもらいたいです。

社会に出れば今以上にいろんな人たちがいます。皆さんの中でも、早ければあと4年もすれば社会に出る人もいます。自分の理屈が通ると思ったら大間違い。皆自分の事で精一杯。特に若いうちは、周りに自分を合わせなくてはやっていけないことの方が多いのです。

温かく迎えてくださる人もいれば、迷惑に思っている人もいるかもしれません。

特にそういう人は、あなたを第一印象で判断します。

だから、失礼のないふるまい、爽やかな挨拶は本当に大事なのです。

人は見かけで判断するのです。緊張感をもって頑張ってきてください!!

さあ、どうだったかな? 丁寧な言葉遣い、できたかな? 明るい挨拶、できたかな? 自分のためにして下さった方に「ありがとうございます」言えたかな?

実は社会に出たら最も重要なのは技能ではありません。そういうところです。

※体験学習中に体調を崩した生徒に、万全の対応をしてくださいました本宏製作所様、本当にありがとうございます!! 心より感謝申し上げます。